

福岡市博物館リニューアル事業について



2024.12.2

福岡市経済観光文化局博物館

1. 福岡市博物館の位置及び周辺施設の立地状況①



(出典) 「福岡アジア美術館年報」「福岡市美術館 活動の記録」「福岡県立博物館 年報」「新福岡県立美術館基本計画」「福岡市科学館 年報」

(地図) 福岡市Webまっぷ

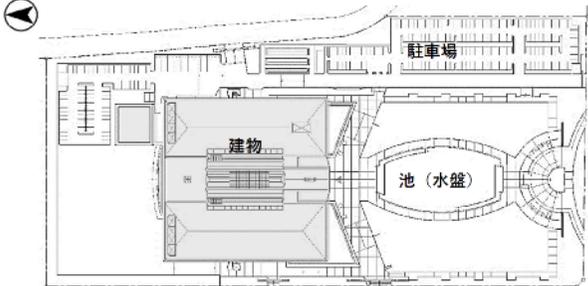
1. 福岡市博物館の位置及び周辺施設の立地状況②



(出典) 福岡市総合図書館「令和4年度福岡市総合図書館の運営に関する評価」
西南学院大学「教育研究基本情報」
福岡市経済観光文化局「福岡タワー経営状況説明資料」(令和5年8月)

(地図) 福岡市Webまっぷ

2. 福岡市博物館の現在の施設状況

所在地	福岡市早良区百道浜三丁目1-1
規模	敷地面積 50,648.80㎡ 建築面積 10,088.56㎡ 延床面積 16,920.62㎡ 構造 SRC造4階建
都市計画概要	第2種住居地域 都市景観形成地区(シーサイドももち地区)
沿革	昭和63年(1988) 博物館竣工 平成元年(1989) アジア太平洋博覧会開催 テーマ館として活用 平成2年(1990) 福岡市博物館として開館 平成25年(2013) 空調工事に合わせ、常設展示リニューアル 令和2年(2020) 高圧受変電設備及び自家用発電機器更新
収蔵資料点数 (うち重要文化財点数)	196,909件(令和5年度末まで) うち、国宝3件、重要文化財7件、県指定文化財5件、市指定文化財24件等
配置図	

■ 基本計画に基づく諸室床面積

	床面積(㎡)	床面積割合
収集・保管部門	2,789.2㎡	17.7%
うち 民俗資料収蔵庫	483.2㎡	
美術工芸資料収蔵庫	405.0㎡	
調査・研究・執務部門	1,607.2㎡	10.2%
うち 執務室	591.0㎡	
会議室(3)	57.1㎡	
展示部門	4,798.7㎡	30.4%
うち 常設展示室	2,125.9㎡	
企画展示室(前室含む)	803.3㎡	
特別展示室	1,558.2㎡	
交流部門	2,737.1㎡	17.4%
うち グランドホール	774.8㎡	
ミュージアムショップ	58.1㎡	
学び・楽しみ部門	835.6㎡	5.3%
うち 体験学習室(みたいけんラボ)	165.0㎡	
その他	2,995.2㎡	19.0%
合計	15,763.0	100%

3. 福岡市博物館の現在の運営状況①

(1) 開館時間、休館日

開館時間 : 9時30分～17時30分(入館は17時まで)
 休館日 : 月曜日(月曜日が祝休日にあたる場合は翌平日)

(2) 観覧料

常設展示・企画展示共通

一般:200円(150円) 高大生:150円(100円)

※中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金

(3) 利用可能(貸出)施設一覧

	講堂	講座室1	講座室2	講座室3	特別展示室A	特別展示室B
定員	247人	150人	32人	24人	—	—
面積	248.82㎡	208.54㎡	100.24㎡	75.01㎡	1292.21㎡	297.95㎡
利用料金	1,800円/時間	1,450円/時間	650円/時間	550円/時間	30,000円/日	6,800円/日
利用率※1	17%	46%	28%	—※2	97%※3	

※1「利用率」は、令和5年度実績で、開館日数に対する施設利用日数で計算(1日1回でも利用があった場合、1としてカウント)

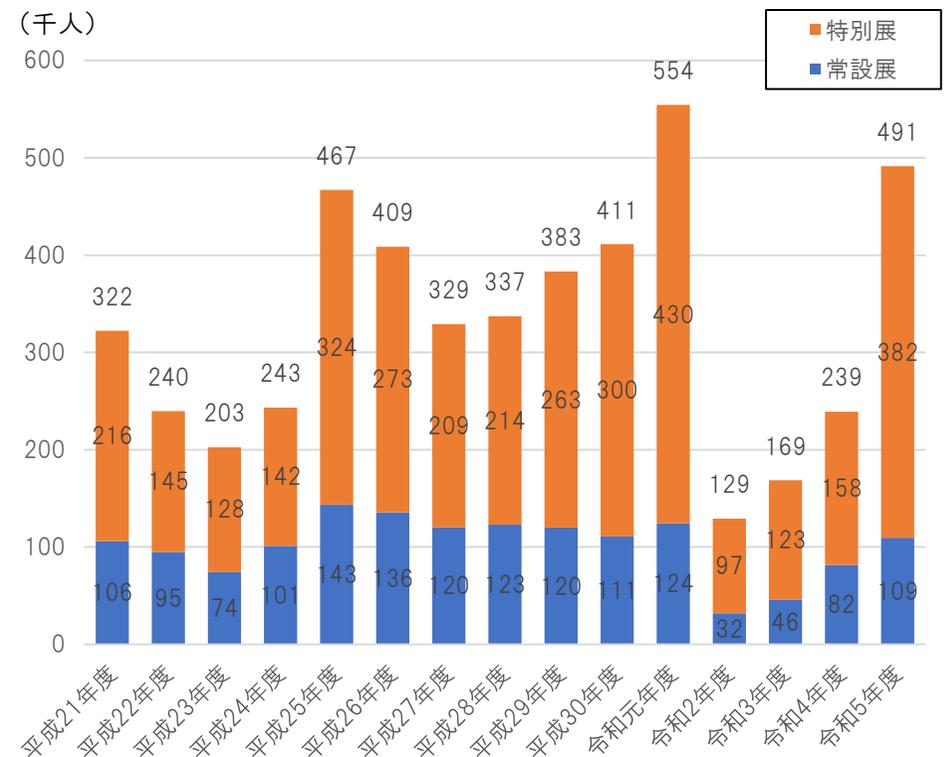
※2 講座室3は、令和5年度は貸出中止。令和6年度時点も貸出中止中。

※3 特別展示室A・Bの利用率には、設営・撤去の日数も含む。

(出典) 福岡市提供資料より

(4) 常設展 観覧者数、特別企画展 観覧者数の推移

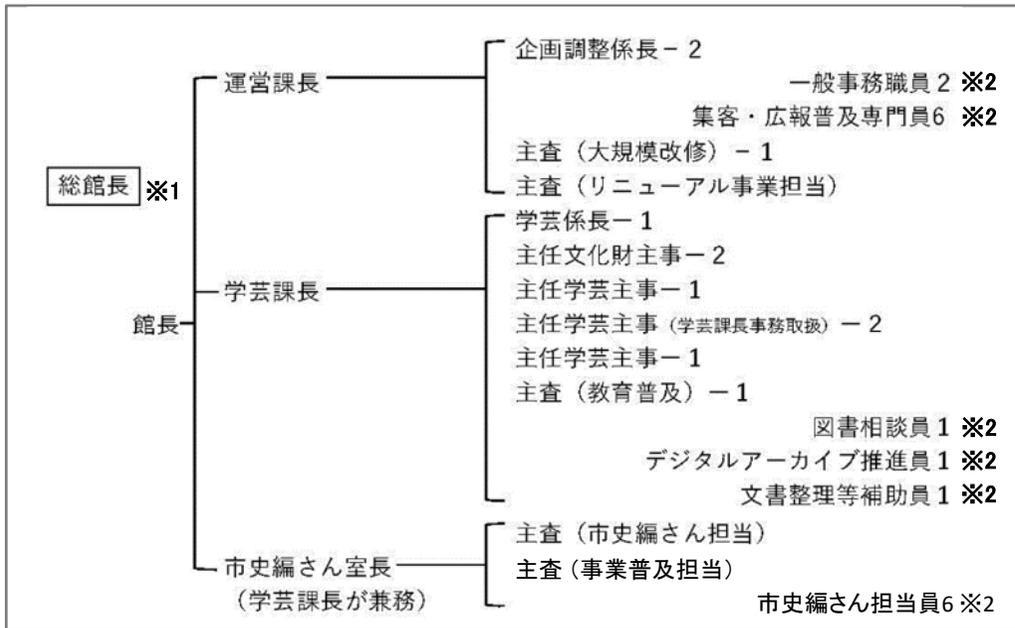
- 年間の観覧者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止策をとっていた令和2～4年度分を除くと、平成21年度から平均して年間約44万人。
- そのうち常設展示は、年間10万人超が観覧。



(出典) 福岡市博物館年報29(令和2(2020)年度)、福岡市提供資料より

3. 福岡市博物館の現在の運営状況②

(5) 職員体制(令和6年度時点)



※1 非常勤特別職:地方公務員法第3条第3項第3号に基づく非常勤職員
 ※2 会計年度任用職員:地方公務員法第22条の2に基づく非常勤職員
 (出典) 福岡市提供資料より

(6) 博物館の収入・支出の推移(事業費)

① 支出(決算額)の年推移

(単位:千円)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
支出合計	546,358	734,006	333,652	396,537	616,221
施設整備費以外	377,306	316,616	322,337	362,383	383,841
管理運営費	304,025	259,599	274,283	298,894	316,421
常設展等経費	13,471	11,854	8,650	11,475	12,621
特別企画展経費	1,426	4,726	9,098	10,176	12,639
資料収集等経費	6,618	8,855	3,640	11,896	12,799
市史編さん経費	51,766	31,583	26,666	29,942	29,361
施設整備費	169,052	417,389	11,315	34,154	232,380

(出典)福岡市提供資料より

② 収入の年推移

(単位:千円)

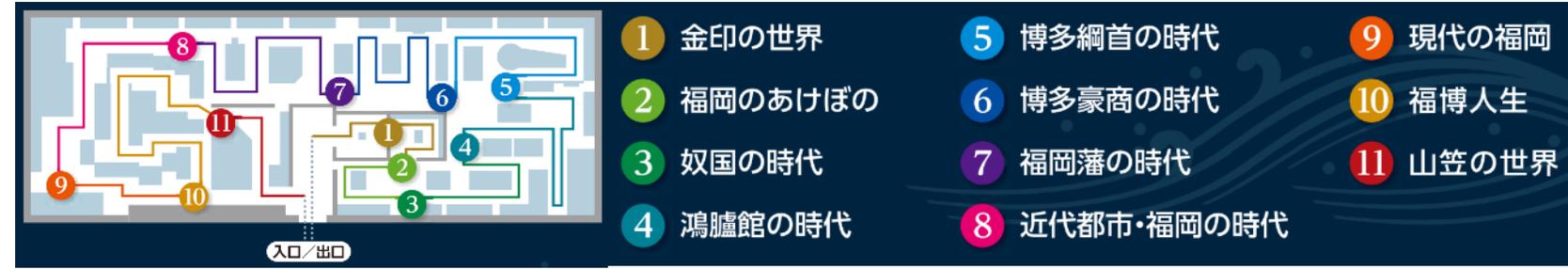
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入合計	81,313	434,817	39,409	48,579	95,014
使用料及び手数料等	51,313	18,817	39,409	48,579	54,014
博物館使用料のうち 常設展示観覧料 (企画展示含む)	13,604	2,160	5,207	9,641	12,233
博物館使用料のうち 特別展示室A・B使用料	6,698	7,287	23,829	25,466	25,981
その他	31,011	9,370	10,374	13,472	15,801
市債	30,000	416,000	0	0	41,000

(出典)福岡市提供資料より

4. 福岡市博物館の現在の展示について

	常設展示	企画展示	特別展示
開催場所	常設展示室(2階・2,125.9㎡)	企画展示室(2階・4室および前室合計803.3㎡)	特別展示室(2階・1,558.2㎡)
開催期間	通年	常時開催 1テーマあたり1か月半～2か月程度	1企画あたり50日程度
開催回数	—	年間20テーマ(4室4テーマ×5期)程度	年間 約5～6回程度
主催者・企画者	福岡市博物館	福岡市博物館	① 第三者(単独の事業者、または実行委員会)による展示室の許可利用 ② 博物館が共催する場合は、実行委員会に参画 ③ 博物館の単独主催も可能だが、事例は少ない
展示の特徴	<p>【現在の常設展示のテーマ】 「FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開館以来の資料収集と、埋蔵文化財をはじめとする市の文化財調査の成果を活用し、実物を映像、レプリカやジオラマ等のさまざまな媒体とともに公開。 ● 福岡の歴史文化について、概ね時系列で紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学芸員の企画により、福岡、九州やアジアの歴史文化に関する多彩なテーマを設け、テーマに沿った収蔵資料や地域の文化財の実物を公開。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 展覧会等の企画・運営を行う実行委員会が、特別展示室を借り上げて実施するもの。 ● 博物館資料や地域の文化財に関する調査・研究の成果を公開する展覧会を含め、市民が福岡に居ながらにして日本や世界各地の文化芸術に親しむことのできる多種多様な展覧会が開催されている。

■ 常設展示室のルートマップ



(出典)福岡市博物館 常設展示のご案内より抜粋

5. リニューアルの方針(基本計画)

①リニューアル推進の考え方

(1) 博物館の特長(強み)

- ① **魅力ある常設展示**…福岡の歴史文化を紹介し、多くの来場者を得ている。
【開館以来の総来場者数—400万人】
- ② **待望される展覧会**…日本・世界の文化芸術に親しむ特別展を開催し、
多くの来場者を迎えている。 【開館以来の総来場者数—813万人】
- ③ **充実した教育普及**…学校への出前学習、修学旅行の受入れの充実。また、体験を通じて
歴史文化に親しめる体験学習室は多くの人に利用されている。
【出前学習の実施校数(R4年度)—76校】
【体験学習室の来場者数(H24-R4年度)—67万人】
- ④ **豊富な収蔵資料**…寄贈を含む、多くの文化財を博物館資料として収集保存し、
福岡の歴史文化を伝える市民の財産を築いている。
【収蔵資料件数—192,438件】
- ⑤ **特色ある建物・外構の活用**…MICE関連企画や様々なイベントの舞台として活用されている。

5. リニューアルの方針(基本計画)

①リニューアル推進の考え方

(2) 博物館の課題

- 【設備面】
- 老朽化した設備の全面更新（電気、給排水衛生、空調、消防設備等）
 - 施設の劣化箇所や消耗した什器類の補強や更新
 - 機能の拡充 ■ 利用率の低い講座室等の機能刷新
 - 利便性の向上
- 【事業面】
- 展示：過去－現在－未来をつなぐストーリー性やインバウンドへの訴求力の強化。
 - 教育普及：多様な学びの機会提供の拡充。
 - 収蔵資料：価値の共有や活用の推進。

(3) リニューアル推進の基本方針

設備の更新をはじめとする大規模改修と運営体制の強化により、歴史文化の発信拠点、文化観光の拠点、学びと交流の拠点、文化を次世代へ継承する拠点としての機能向上を図り、福岡市が目指す都市像の実現に貢献する。

5. リニューアルの方針(基本計画)

②これからの博物館のビジョンとリニューアルの目標

博物館は、対外交流の最前線として挑戦を続け多様な文化を育んできた福岡の歴史から「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざす現在と未来の姿を発信し、地域文化の担い手である市民、次世代を担う子どもたちや世界からの来訪者と共有・交流する役割を果たす。

目標 1 交流と多様性が創る都市の過去－現在－未来にむかうストーリーを発信する

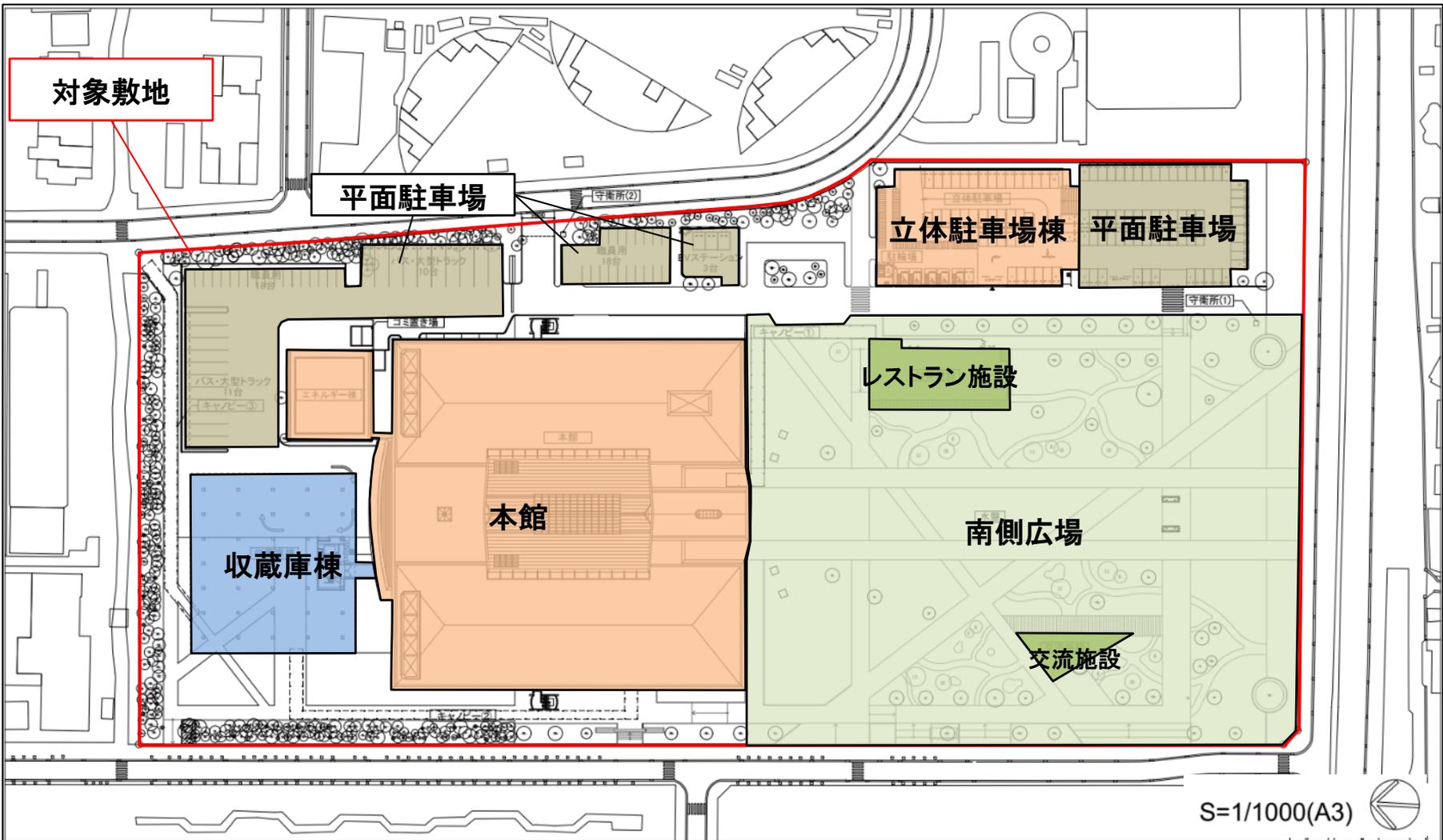
目標 2 すべての人の学び・楽しみを支え、人々の関わり合いを豊かにする

目標 3 資産・資源をより有効に活用し、博物館とエリアの魅力を高める

6. 福岡市博物館リニューアル推進事業の対象施設

現時点での想定案であり、
今後変更の可能性あり

リニューアル後の対象施設の配置



※本館の付属施設として、ゴミ置き場、キャンピーが外構部分に配置される

7. 施設改修計画(本館)

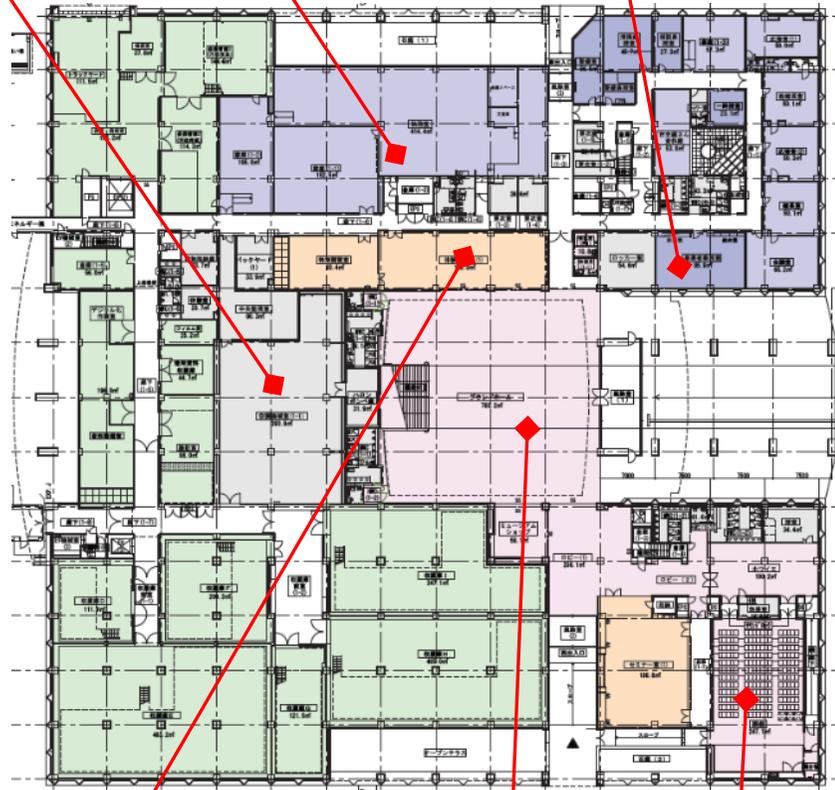
現時点での想定案であり、
今後変更の可能性あり

設備改修

- ・全面更新

執務室改修(市側)

執務室改修(SPC側)



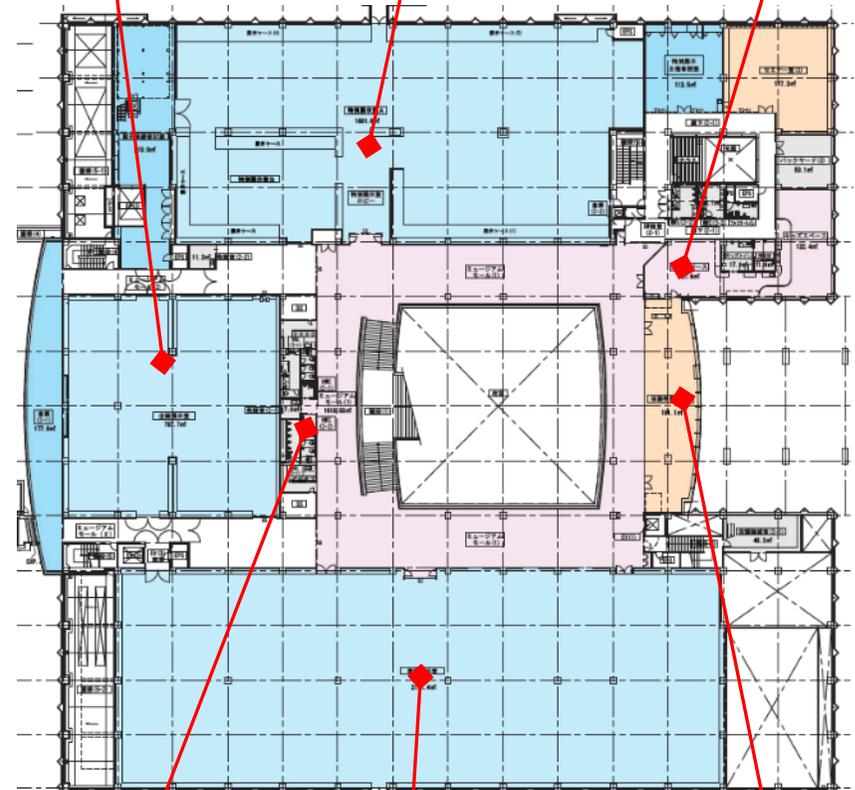
企画展示室改修

- ・回遊性の向上
- ・壁ケース改修
- ・可動壁設置
- ・各種設備改修

特別展示室改修

- ・壁ケース改修
- ・可動壁改修
- ・各種設備改修

キッズスペース改修



体験学習室改修

- ・内装の改修
- ・什器の拡充

グランドホール改修

- ・サインージの設置
- ・イベント盤の設置
- ・消火設備の拡充

講堂

- ・座席/照明等の改修
- ・音響の改善

トイレ改修

常設展示室改修

- ・展示改修
- ・壁ケース改修
- ・各種設備改修

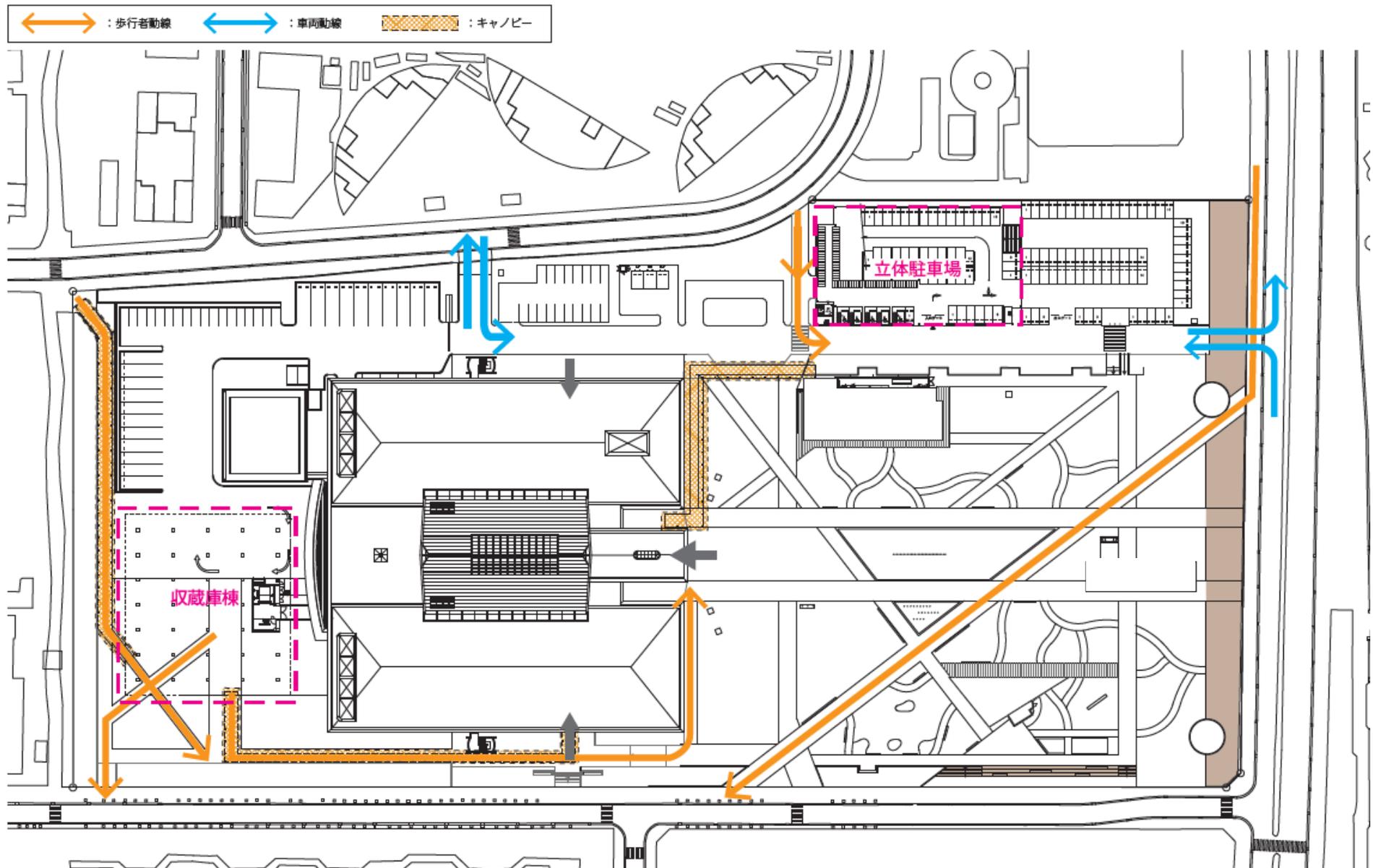
体験学習室改修

1階

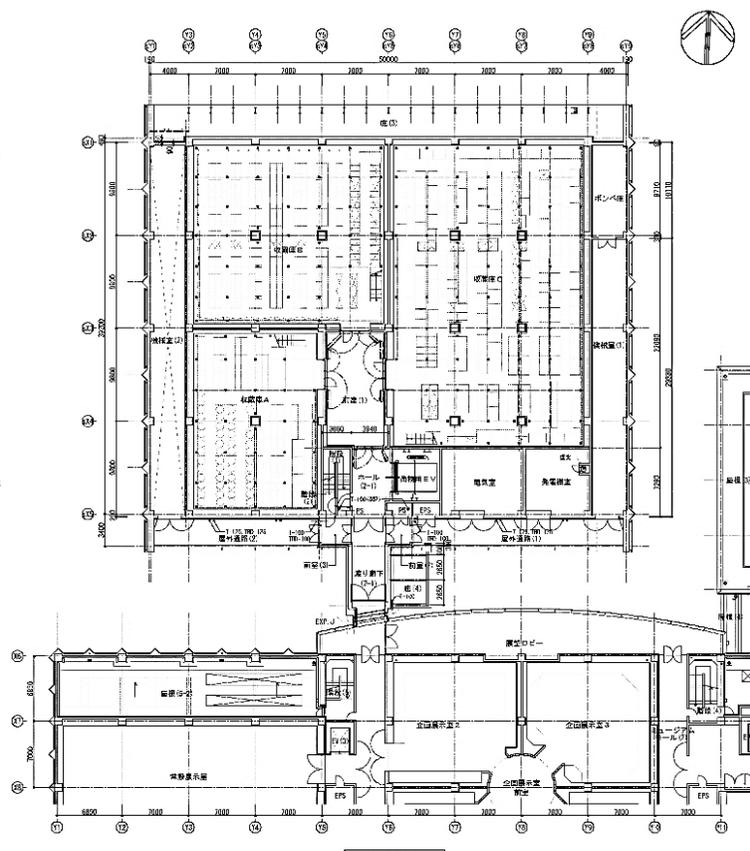
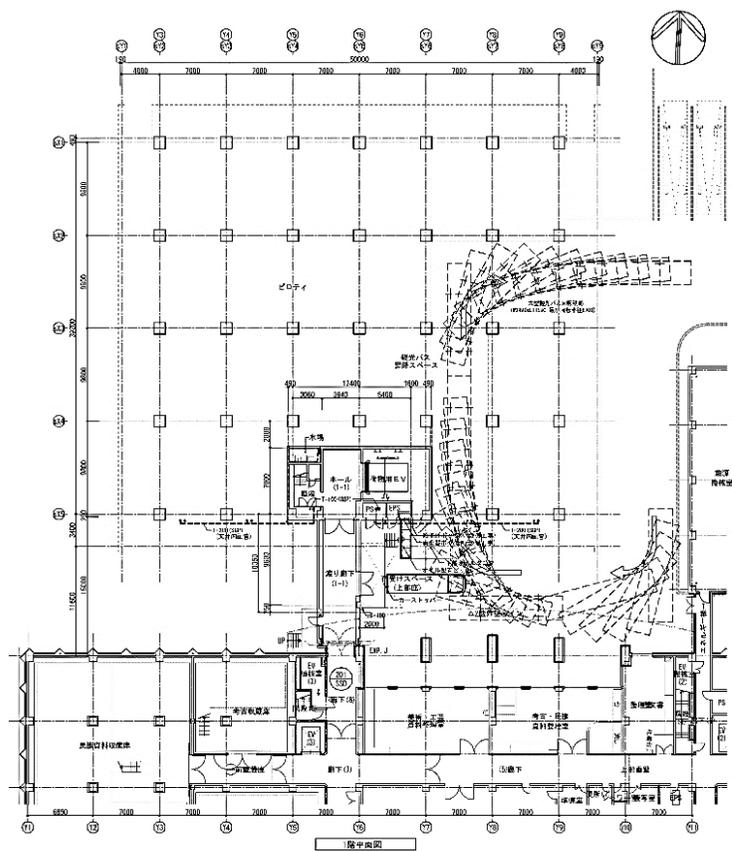
2階

7. 施設改修計画(外構)

現時点での想定案であり、
今後変更の可能性あり

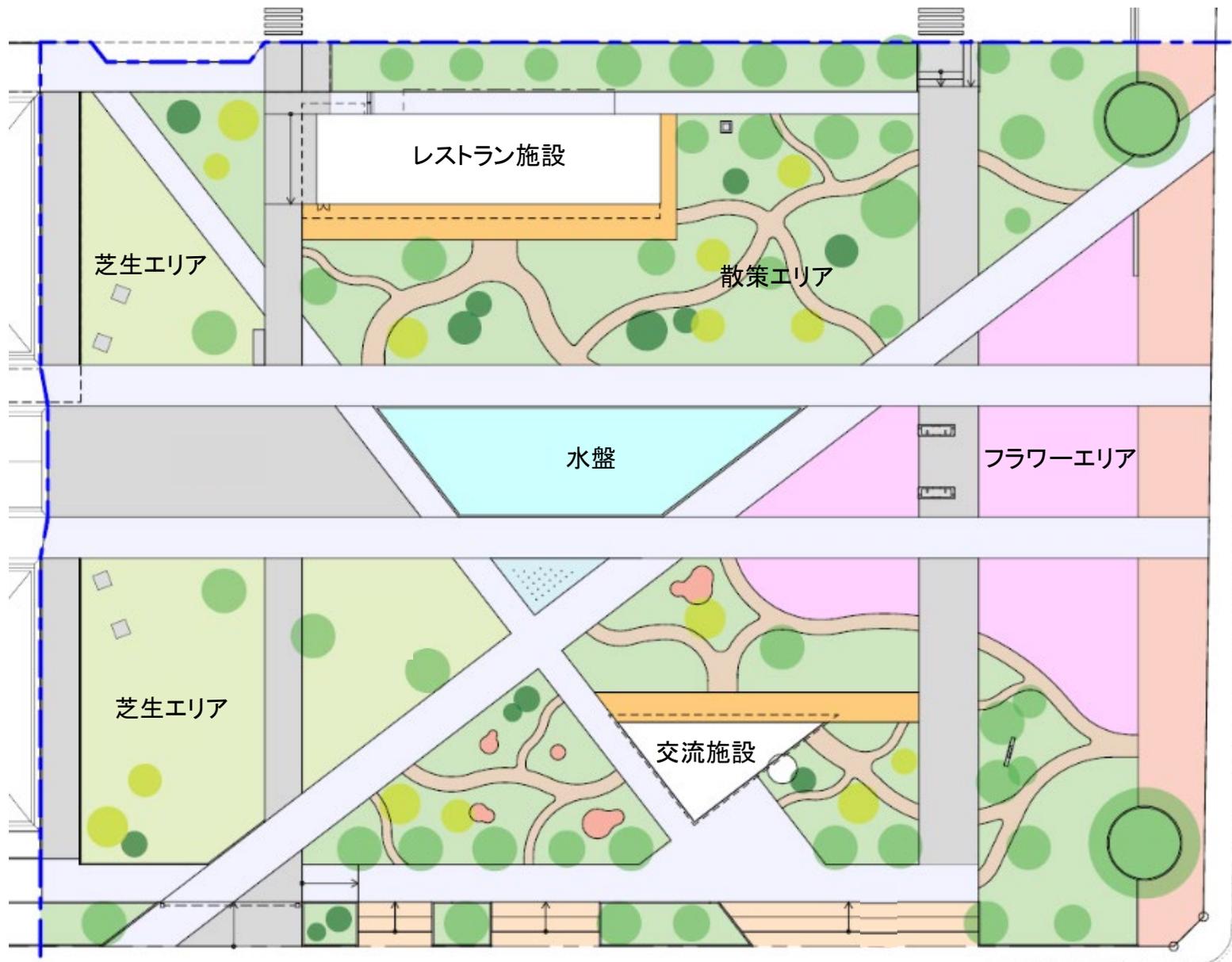


7. 施設改修計画(収蔵庫棟)



7. 施設改修計画(南側広場)

現時点での想定案であり、
今後変更の可能性あり



8. 福岡市博物館リニューアル推進事業の内容

現時点での想定案であり、
今後変更の可能性あり

福岡市博物館リニューアル推進事業(事業全体)

福岡市博物館リニューアル事業(PFI事業=本事業) ※ PFI-RO方式で実施することは決定済み



(1) 本館等の整備に関する業務

① 本館等の設計業務(基本設計・実施設計)

- ・ 事前調査業務及びその関連業務
- ・ 本館等の基本設計及び実施設計並びにその関連業務

② 本館等の施工業務

- ・ 仮設事務所の建設に係る施工業務及びその関連業務
- ・ 本館・外構の改修及び立体駐車場棟の建設に係る施工業務及びその関連業務
- ・ 本館の什器・備品等の調達業務 等

③ 工事監理業務

- ・ 本館等の施工に係る工事監理業務

(2) 対象施設の開館準備・開業準備に関する業務

① 本館等の開館準備業務

- ・ 本館の事務所及び収蔵資料移転に伴う支援業務
- ・ 休館中の教育普及業務
- ・ ブランディング業務
- ・ 広報業務
- ・ 特別展開催準備業務 等

② 南側広場の開業準備業務

- ・ 広場空間の植栽植付業務及びその関連業務
- ・ 交流施設及びレストラン施設の什器・備品等の調達業務
- ・ レストラン施設の内装及び設備工事業務及びその関連業務
- ・ その他南側広場の開業準備 等

9. 福岡市博物館リニューアル事業の業務内容②

現時点での想定案であり、
今後変更の可能性あり

(3) 対象施設の維持管理に関する業務

- ① **本館等**の改修前の維持管理業務
- ② **本館等**の休館中の維持管理業務
- ③ **本館等**の引渡し後の維持管理業務

(博物館本館)

- ・ 建築物保守管理業務
- ・ 建築設備保守管理業務
- ・ 施設備品等保守管理業務
- ・ 清掃業務
- ・ 環境衛生管理業務

(外構)

- ・ 清掃業務
- ・ 植栽管理業務

④ **収蔵庫棟**の維持管理業務

⑤ **広場空間及び交流施設**の維持管理業務

- ・ 建築物保守管理業務
- ・ 建築設備保守管理業務
- ・ 清掃業務
- ・ **植栽管理業務**

⑥ **レストラン施設**の維持管理業務

⑦ 対象施設全体に共通する維持管理業務

- ・ 警備業務

(4) 対象施設の運営に関する業務

① **本館**の運營業務

- ・ 施設の貸出・使用管理等に係る業務
- ・ **常設展示関連業務**
- ・ **企画展示関連業務**
- ・ **特別展示関連業務**
- ・ **教育普及業務**
- ・ 資料収集等業務
- ・ 市史編さん業務
- ・ **ユニークメニュー活用業務**
- ・ **ミュージアムショップ運營業務**
- ・ その他本館運営に係る業務

② **広場空間及び交流施設**の運營業務

- ・ 施設の貸出に係る業務

③ **レストラン施設**の運營業務

- ・ **レストラン運營業務**
- ・ **ショップ運營業務**
- ・ 多目的スペース運營業務

④ **駐車場**の運營業務

- ・ 駐車場運營業務

⑤ 対象施設全体に共通する運營業務

- ・ 全体管理業務
- ・ 利用者対応に関する業務
- ・ ブランディング業務
- ・ **集客業務(イベント実施業務)**

【事業者側リスク】

《事業期間共通》

- ✓ 基準金利確定以後の金利変動リスク
- ✓ 物価変動によるコストの変動
(一定程度を超える変動は調整する) 等

《設計・施工段階》

- ✓ 事業者の提案内容の不備、変更による費用の増大、計画遅延に関するもの
- ✓ 施工により既存の施設及び設備が損傷した場合等

《維持管理・運営段階》

- ✓ 事業者が施工した施設・設備の欠陥・不備が、事業期間中に発見された場合
- ✓ 施設・設備の劣化に対して、事業者が適切な維持管理業務（修繕を含む）を実施しなかったことに起因する施設・設備の損傷
- ✓ 事業者の責めに帰すべき事由により、展示品、収蔵品、預託品が盗難・破損した場合
- ✓ 運営における利用者からの苦情、利用者間のトラブル等、利用者対応に関するもの
- ✓ 独立採算事業（レストラン、ショップ等）の利用者数の変動による収入・支出の増減に関するリスク 等

【市側リスク】

《事業期間共通》

- ✓ 入札説明書、要求水準書等の誤記、提示漏れにより、市の要望事項が達成されない等の事象への対応
- ✓ 基準金利確定前の金利変動リスク
- ✓ 物価変動によるコストの変動 等

《設計・建設段階》

- ✓ 市の指示、提案条件の不備、変更、提示された資料等から予見できなかった不測の事態による費用の増大 等

《維持管理・運営段階》

- ✓ 市が施工した施設・設備の欠陥・不備が、事業期間中に発見された場合
- ✓ 施設・設備の劣化に対して、市が適切な改修等を実施しなかったことに起因する施設・設備の損傷
- ✓ 事業者の責め以外の事由により、展示品、収蔵品、預託品が盗難・破損した場合
- ✓ 施設利用者数の変動による収入の増減に関するリスク（独立採算事業を除く） 等

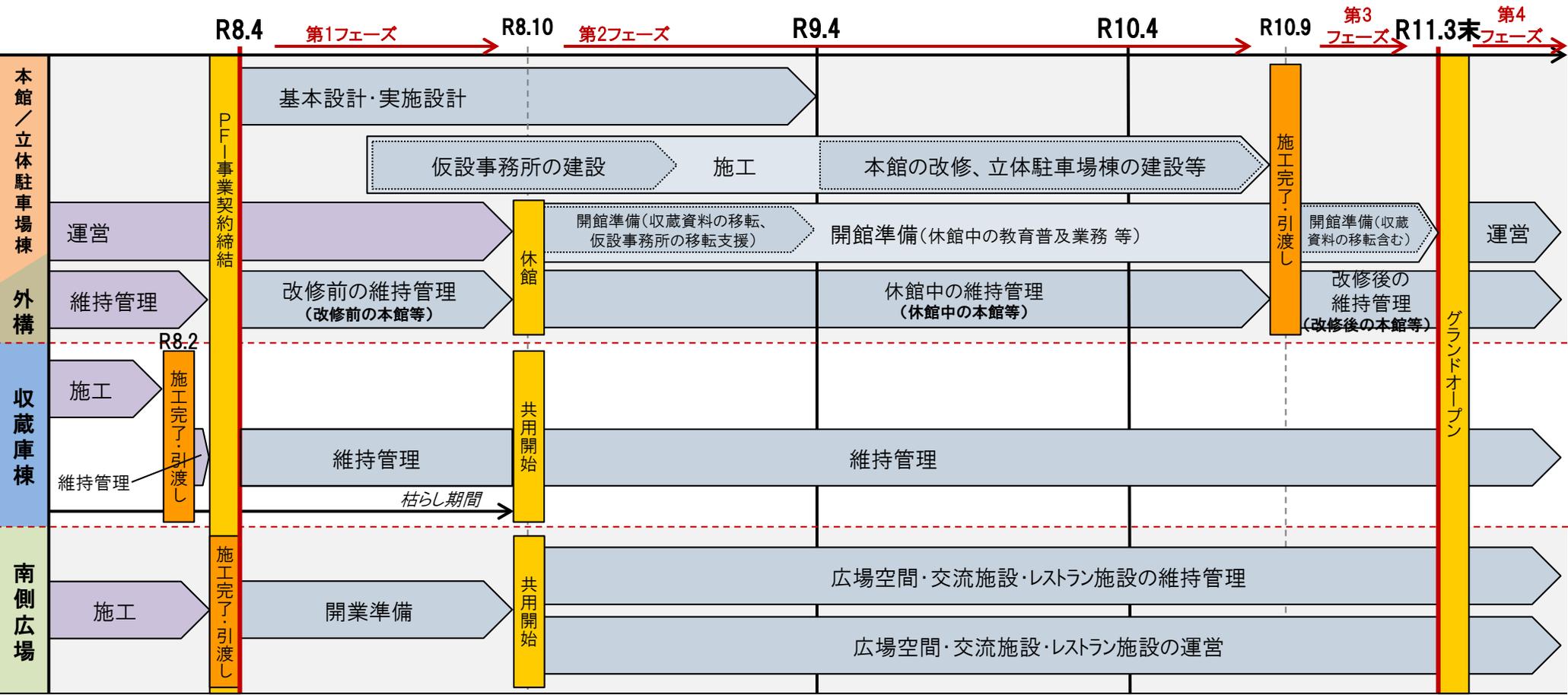
11. 提案審査における「地域経済への貢献策」についての市の考え

- ◆ 提案（性能）審査項目において「地域社会、地域経済への貢献」について加点評価を実施し、**地場企業の事業参画を促進**したい考えであり、詳細については今後検討予定

【福岡市他事業における設定事例】 第2給食センターPFI事業 における提案(性能)審査における加点項目	配点	配点割合
事業計画 [小計①]	180点	24%
・資金調達計画, 事業収支計画	(20点)	
・事業収支計画	(20点)	
・事業継続	(20点)	
・リスク管理の考え方	(20点)	
・地域社会、地域経済への貢献	(100点)	(13%)
施設整備 [小計②]	185点	25%
維持管理 [小計③]	60点	8%
運営 [小計④]	255点	34%
その他 [小計⑤]	70点	9%
合計 [小計①～⑤]	750点	100%

12. 事業スケジュール

現時点での想定案であり、
今後変更の可能性あり



◆ 事業期間

- 事業契約締結: 令和8年2月
- 事業期間終了: 令和26年3月31日
(事業期間全体: 約18年1箇月、本館等の運営期間: 15年間)

【凡例】

- 市の行う業務
- PFI事業者の行う業務

『個別対話』で地場企業の皆様と意見交換したい項目・内容等

- 改修にあたっての現況の把握の仕方
現地見学会の頻度、確認が必要な箇所、
事前に必要な資料提供の内容 など
- 「常設展示」の提案・設計について
民間ノウハウを活かした提案をいただくために
必要な情報・条件等
- ミュージアムショップ・レストラン等における賃料設定について
固定賃料、売上割合など、適切な賃料設定
- 独立採算を求める業務について
それぞれの実施可能性、課題、懸念など